

観峰館収蔵品目録 (VI) — 法帖 (一) —

観峰館学芸部

はじめに

観峰館では、近代中国書画を中心とする約二万五千点に及ぶ所蔵作品の継続的な調査研究を実施している。本稿は、その成果公表を目的としたものである。

第六回となる今号より、法帖を取り上げる。所蔵品には、八〇〇件以上に及ぶ法帖コレクションが含まれている。主なものとしては、漢代から唐代までの碑版法帖、明版「淳化閣帖」「筆訣」等の法帖や、「三希堂石渠宝笈法帖」「御跋 趙孟頫十札法帖」など、清時代の乾隆帝治下で刊行されたものがあり、これまでも本紀要において、いくつかの法帖に関して言及がなされている^①。また、日本で刊行された「耳比磨利帖」「本朝歴代群書法帖」等も含まれている。

今号では、その中から、王羲之(三〇三―三六一)関連の法帖を抽出し、その目録を提示する。王羲之関連の法帖としては、「十七帖」「蘭亭序」、集字碑である「興福寺断碑」「集王聖教序」、他に「樂毅論」「孝女曹娥碑」等がある。その多くが清時代以降の拓本であり、中には、近代に翻刻されたものや、日本で刊行されたものも含まれる。多岐にわたる種類の法帖を含んでいることは、観峰コレクションの妙味といえよう。従って本稿では、精拓本のほか、翻刻本や和刻本などの画像も掲載し、併せて、主だった収蔵印や跋文などの情報も提示することとする。

先学諸氏の批正をいただければ幸いである。

【凡例】

一、法量は、縦×横(cm)で表記した。
一、制作年代は、原跡及び建碑の年代とした。和刻本については、併せて刊行年を記した。

一、写真撮影、法量測定は、観峰館学芸部(古橋・寺前・根来)が担担し、釈文解説は瀬川が、また編集は寺前が担当した。
一、参考文献は枚挙に遑がないが、作品解説の執筆にあたっては、主に東京国立博物館「特別展 書聖 王羲之」図録(二〇一三年)を参照した。

一、本稿及び本稿に未掲載の図版の一部は、観峰館ホームページにて、随時公開する。あわせてご参照いただきたい。

【作品解説】

(一) 十七帖

王羲之の尺牘二十九通が収められたもので、第一通の冒頭に「十七日先書」とあることから、「十七帖」の総称で呼ばれている。当初は二十三通であったが、現在伝わる十七帖は二十九通が収められている。多くは、益州刺史として蜀に赴任していた周撫に宛てたもので、日常の出来事のやり取りが書かれている。王羲之の草書の名品として名高い。

観峰館所蔵本「拓帖―117」は、館本系に属するもので、帖末に「勅」の大字と楷書の跋、そして梁時代の鑑定家・徐僧権の押署がある。その跋によると、この「十七帖」は解天畏が作った

摸本であり、緒遂良が校定したところ、損なわれているところはなかったという。そして最終開には、項元汴（一五二五～一五九〇）の収蔵印がある。検討を要する点もあるが、資料として掲載した。

また、「帖―単―046」は、沢田東江（一七三二～一七九六）跋（安永二年・一七七三）があるものである。跋文については、『和刻本書画集成』（一九七七年、汲古書院）解題及び図版もあわせて参照。

同じく、「帖―単―047」は、菅谷清成（一七五五～一八三三）の識語がある。菅谷清成は上野（群馬県）高崎藩士。帰雲と号し、沢田東江に漢詩を学んだ。

（二）蘭亭序

永和九年（三五三）三月三日、会稽郡の長官時代に、自邸の蘭亭に名士四十一人を招いた遊宴にて、二十六人によって賦された詩篇の序文に書かれた草稿。隋・開皇年間に石刻された開皇本のほか、唐・太宗が命じて欧陽詢（五五七～六四一）が臨書したものを石刻した定武本など、諸本は多岐にわたる。

観峰館所蔵本のうち、「拓帖―026」は、溥儒（一八九六～一九六三）旧蔵本である。以下に跋文を載せる。

「汲古得修綆」（白文橢円印）

蘭亭昔見数本皆称定武非定

武也一薛家摸石最佳餘皆

宋刻別石榻耳不得已而求之

則拙者近古媚者近今此本甚拙

或摸諸定武真本当見山陰

典型当与聖教参看雖余蔵

旧本有宣和璽印秋壑圖書

亦未見其遠過此本則定武之難

言可知也

己卯元旦晴窓偶記心畵

「溥儒」（白文方印）

最終開にある所蔵印の内、唐宝鑑とは、光緒十七年（一八九二）に延平府知府、同十八年（一八九二）に福州知府を務めた人物か。

また、「碑―合―024」は、宋伯魯（一八五四～一九三二）の識語があり、宋伯魯の臨書墨帖である。目録上「蘭亭序」としており、調査の結果、臨書帖だと明らかになったが、参考図版として掲載した。以下に釈文を載せる。

前明章仲玉墨池堂所刻定武蘭亭与吾

呂荀氏上党石原属沆瀣一氣而墨池本較

適勁尤為生平所善好荀氏石刻既亡拓本亦

希如星鳳新学日興考古者蓋不可得心窃

憂之頃将有出閩之役瀕行匆匆撫臨章本

一過以貽同好以章氏实無異荀氏也

光緒丙午三月既望宋伯魯倚襄識

（三）興福寺断碑

興福寺の僧・大雅（生卒年不詳）が、王羲之の書跡から字を集め、同寺内に建てた集字碑。明時代・万暦年間に出土したが、既にな

半分が失われていたことから、断碑と呼ばれている。開元九年（七二一）に埋葬された人物の菩提を弔うために建てられた碑である。

観峰館所蔵本「碑—唐—103」は、佐山重致（生卒年不詳）の旧蔵本で、第一開と最終開に「佐山重致」「佐山文庫」の蔵書印がある。

（四）集王聖教序

弘福寺の僧・懷仁（生卒年不詳）が、王羲之の書跡から字を集め、同寺内に建てた集字碑。「聖教序」とは、唐の高僧・玄奘法師（六〇二～六六四）が西域より持ち帰り、漢文訳した仏典に対して作られた、唐太宗御製の序文「大唐三藏聖教序」のことで、碑石は西安碑林博物館に現存する。なお当館には、その復元石碑がある。

（五）樂毅論

三国時代の魏の夏侯玄（二〇九～二五四）が、戦国時代の燕の武将・樂毅（生卒年不詳）の人物を論じたもの。王羲之の小楷の作品として名高く、唐の褚遂良（五九六～六五八）が王羲之の書を鑑定した記録『王羲之書目』は、楷書の第一としている。

（六）孝女曹娥碑

後漢時代、父の死を嘆き、自ら水に身を投じて亡くなった曹娥（一二〇～一四三）という女性の死を悼み、元嘉元年（一五一）に建てられた碑文。明時代の文徵明（一四七〇～一五五九）が『停雲館帖』に刻入し、王羲之小楷の第一としてから、王羲之の書として伝承されるようになった。

観峰館所蔵本「帖—単—002」は、冒頭に王羲之後裔の王作

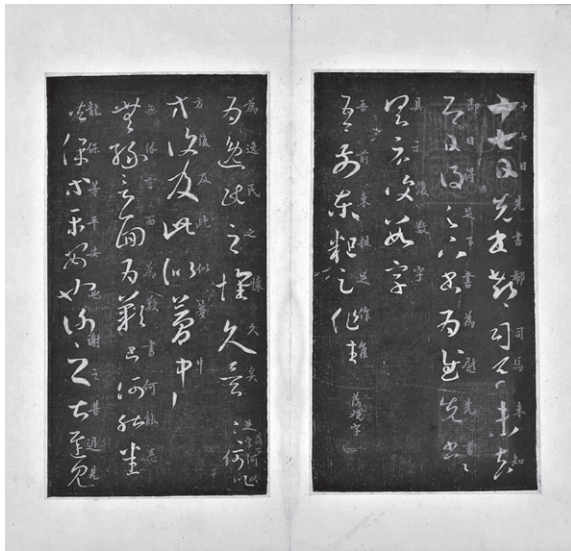
霖が原本を摸刻した記と石之貞跋（康熙十二年・一六七三）がある他、複数の拓を含むものである。

〔注〕

- （1）萩信雄「淳化閣帖研究（二）」（『観峰館紀要』第二号、二〇〇六年）、尾川明穂・六人部克典「観峰館蔵豊坊筆《筆訣》について」（『観峰館紀要』第九号、二〇一三年）、増田知之「観峰館所蔵『御跋趙孟頫十札法帖』に関する一考察（上）（下）」（『観峰館紀要』第十号・十一号、二〇一四・二〇一六年）。

観峰館所蔵 王羲之法帖リスト

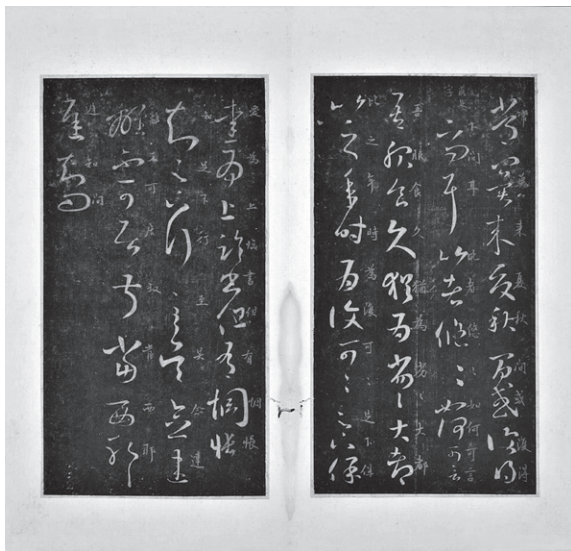
No	資料番号	作品名	時代	法量(縦×横)	跋	印
十七帖						
1	帖一単—022	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	27.3×13.7cm	無	無
2	帖一単—044	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	26.3×13.1cm	無	無
3	帖一単—045	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	26.0×12.8cm	無	無
4	帖一単—046	弘文館藏帖十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	26.1×13.8cm	有（沢田東江）	無
5	帖一単—047	帰雲山房草帖館本十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	26.5×12.2cm	有（菅谷清成）	無
6	帖一単—072	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	27.4×15.3cm	無	無
7	帖一零—007—a	宝晋齋法帖本十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	29.5×16.0cm	無	無
8	拓帖—106	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	29.6×15.8cm	無	有
9	拓帖—117	十七帖	原跡；東晋時代（4世紀）	30.4×16.3cm	無	有
蘭亭序						
1	拓帖—023	蘭亭序・孝女曹娥碑	原跡；東晋時代・永和九年（353）	23.4×12.9cm	無	有
2	拓帖—026	蘭亭序	原跡；東晋時代・永和九年（353）	33.1×16.8cm	有（溥儒）	有
参	碑一合—024	蘭亭序（臨書帖）	光緒三二年（1906）	27.5×17.2cm	有（宋伯魯）	無
興福寺断碑						
1	碑一唐—101	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	34.7×18.8cm	無	無
2	碑一唐—102	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	31.6×19.0cm	無	無
3	碑一唐—103	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	30.5×16.4cm	無	無
4	碑一唐—104	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	29.0×18.0cm	無	有
5	碑一唐—105	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	30.2×18.7cm	無	無
6	碑一唐—106	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	29.7×17.0cm	無	無
7	帖一単—052	興福寺断碑	唐時代・開元九年（721）建碑	27.3×16.0cm	無	無
集王聖教序						
1	碑一唐—058	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	30.0×15.4cm	無	有
2	碑一唐—059	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	28.9×15.7cm	無	無
3	碑一唐—060	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	29.9×17.2cm	無	無
4	碑一唐—061	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	28.8×15.6cm	無	有
5	碑一唐—062	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	31.1×18.2cm	無	無
6	碑一唐—064	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	29.4×18.6cm	無	無
7	碑一唐—065	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	33.4×18.1cm	無	無
8	碑一唐—066	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	32.5×19.5cm	無	無
9	碑一唐—067	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	35.1×19.9cm	有（龍門主人）	有
10	碑一唐—068	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	31.3×18.0cm	無	無
11	碑一唐—069	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	32.9×17.0cm	無	無
12	碑一唐—070	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	32.7×18.0cm	無	無
13	碑一唐—071	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	30.7×17.8cm	無	有
14	碑一唐—072	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	33.8×18.5cm	無	無
15	碑一唐—073	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	30.5×17.3cm	無	有
16	碑一唐—074	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	32.0×16.4cm	無	無
17	碑一唐—075	集王聖教序	唐時代・咸亨三年（672）建碑	30.7×17.5cm	無	無
18	碑一唐—076	集王聖教序 下冊	唐時代・咸亨三年（672）建碑	35.3×19.2cm	無	無
樂毅論						
1	帖一単—019	樂毅論	原跡；東晋時代・永和四年（348）	29.6×15.5cm	無	無
2	帖一単—024	快雪堂法書樂毅論	原跡；東晋時代・永和四年（348）	27.6×16.0cm	無	無
孝女曹娥碑						
1	帖一単—002	孝女曹娥碑五種	原跡；東晋時代・升平二年（358）	30.5×17.3cm	有	無



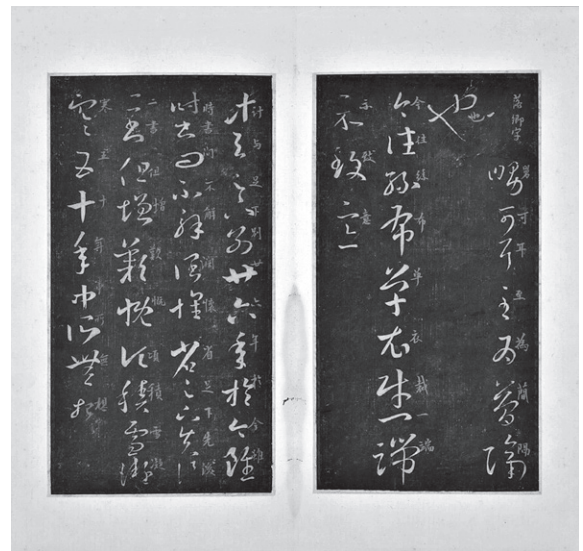
同 第一開



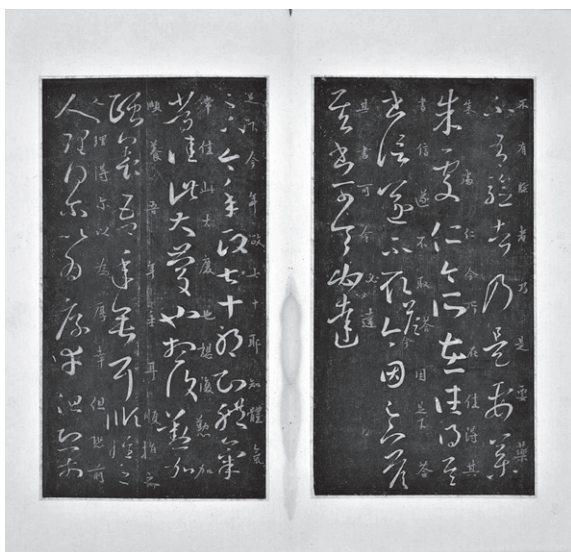
十七帖 表紙
(拓帖—117)



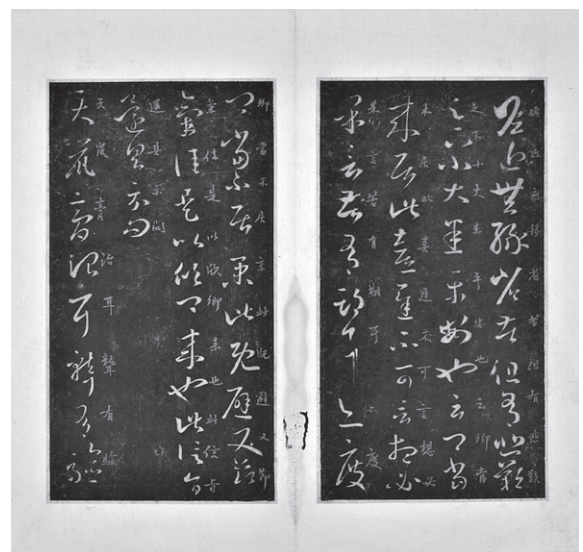
同 第三開



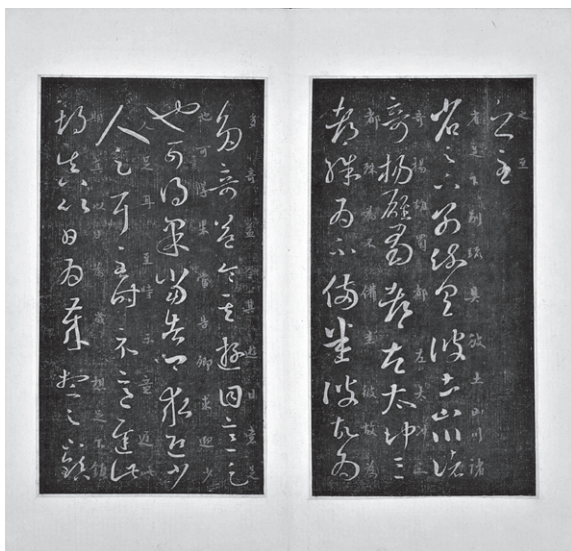
同 第二開



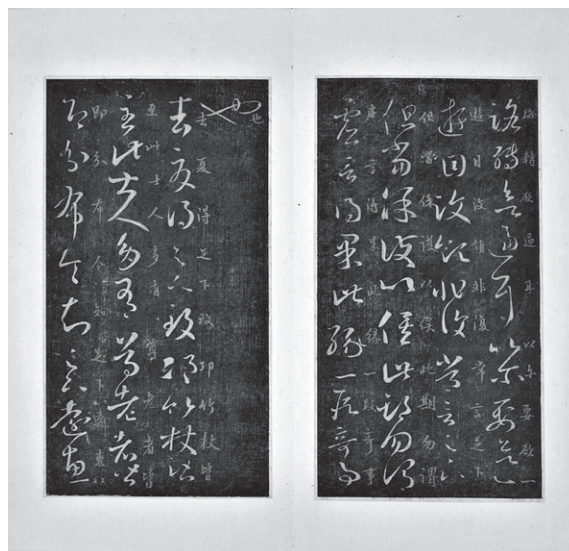
同 第五開



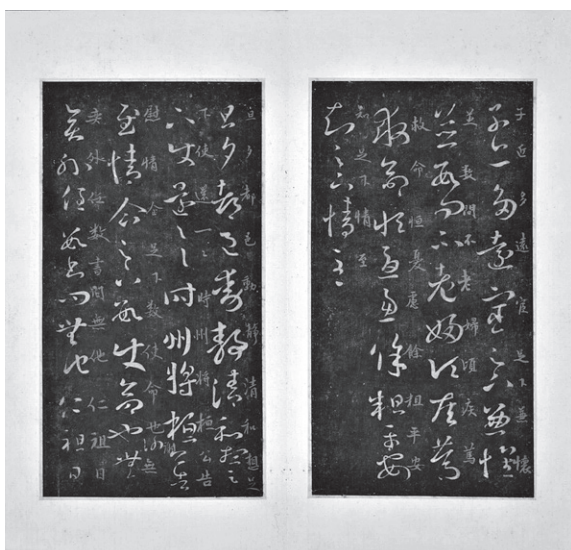
同 第四開



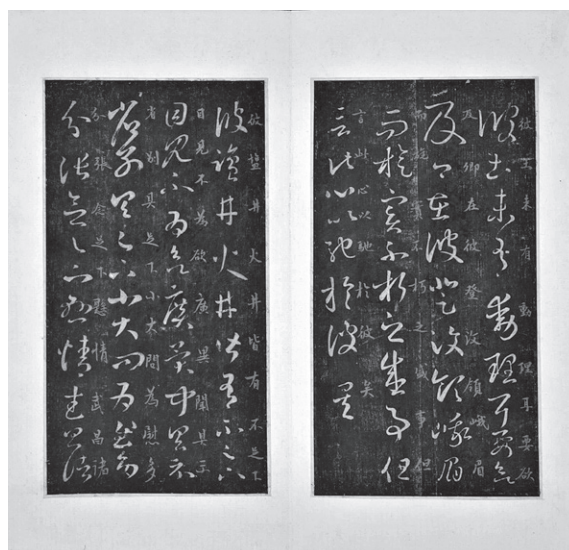
同 第七開



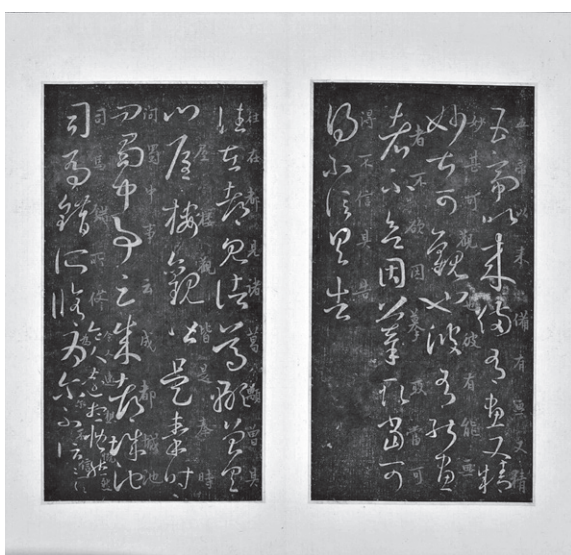
同 第六開



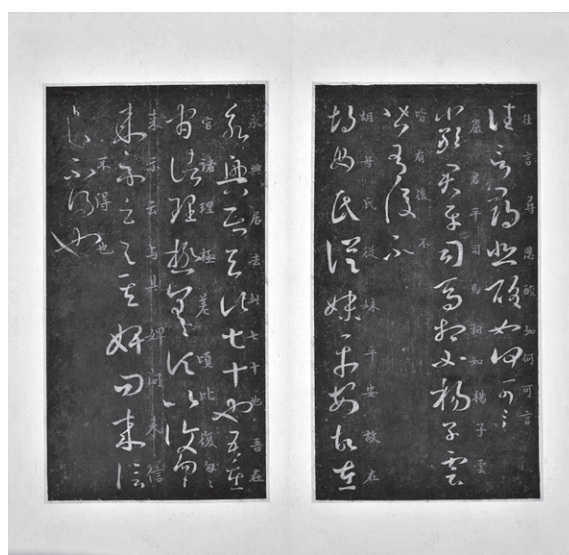
同 第九開



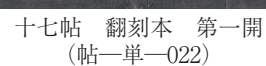
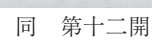
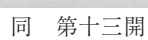
同 第八開

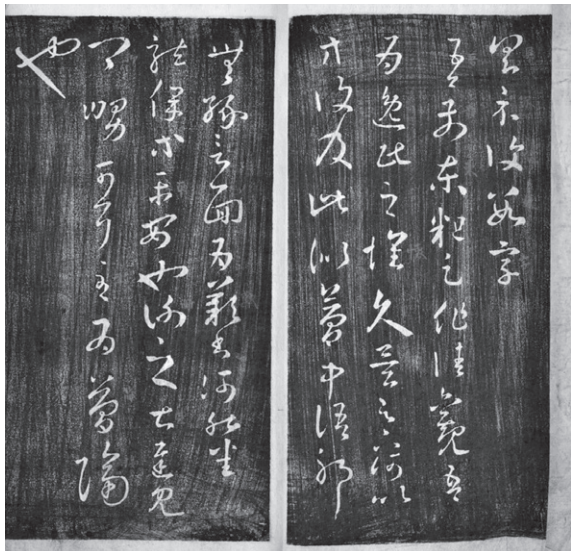


同 第十一開

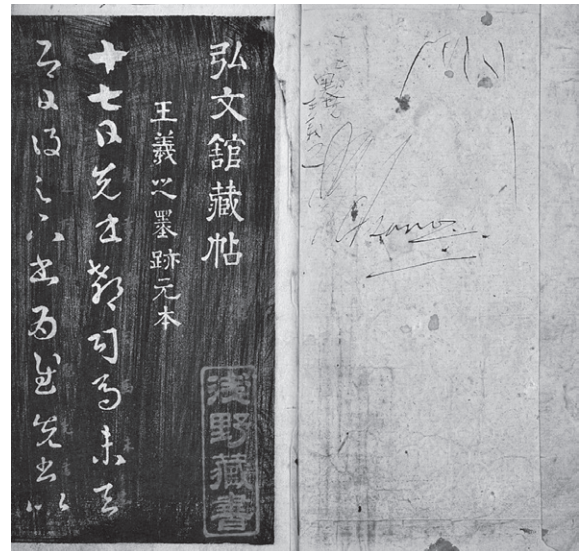


同 第十開

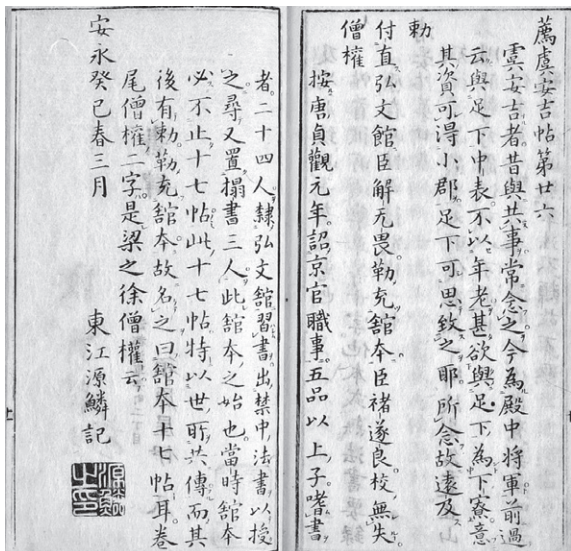




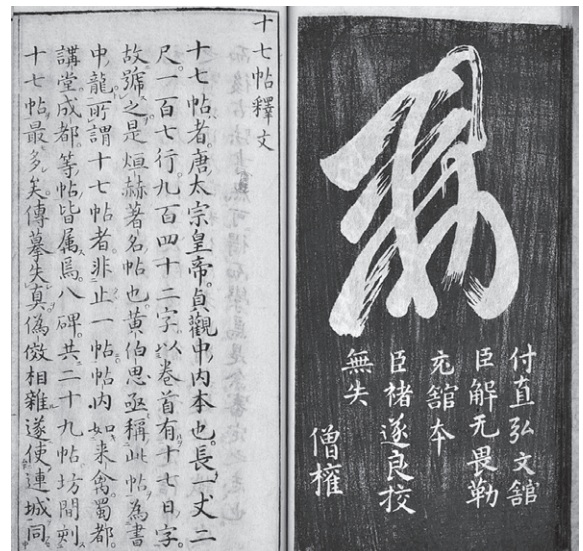
同 第二開



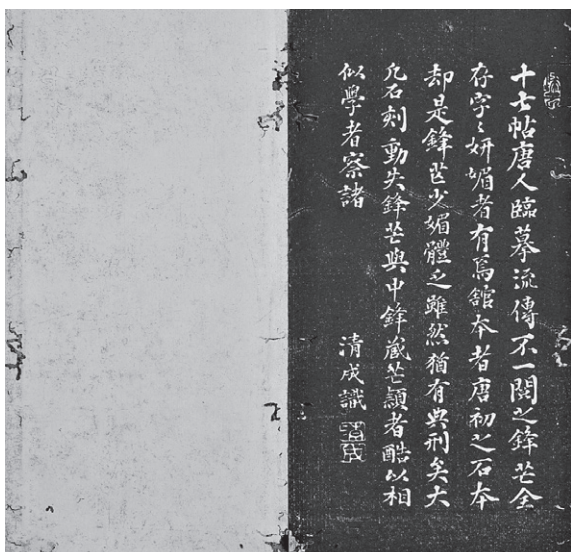
十七帖 和刻本 第一開
(帖一單—046)



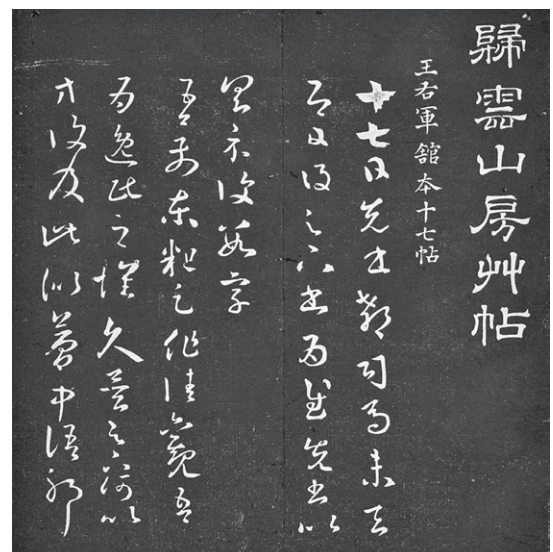
同 沢田東湖記 (二)



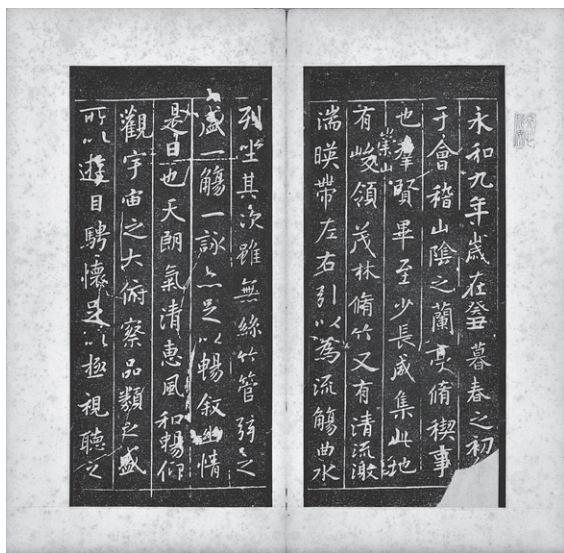
同 沢田東湖記 (一)



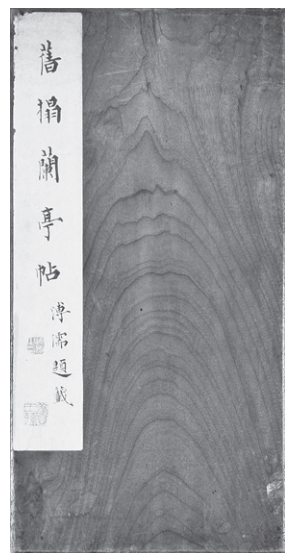
同 菅谷清成識語



十七帖 和刻本 第一開
(帖一單—047)



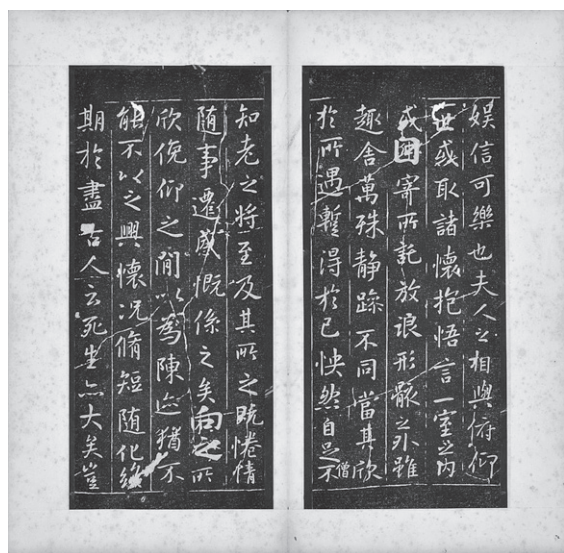
同 第一開



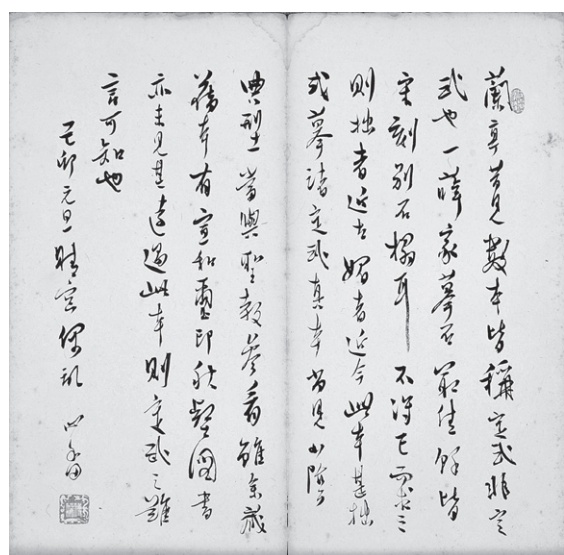
蘭亭序 表紙
(拓帖—026)



同 第三開



同 第二開



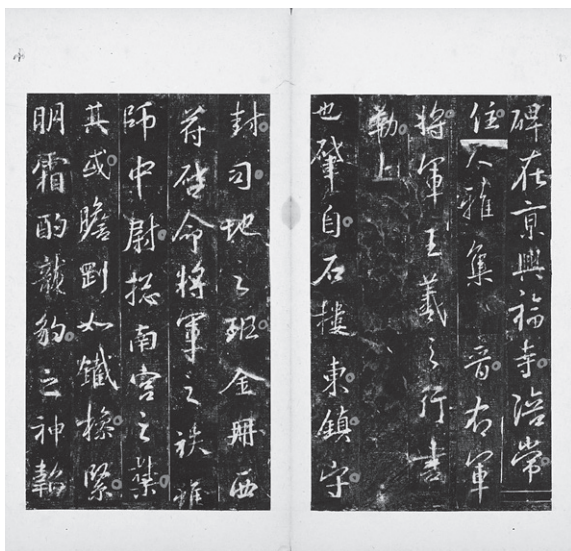
同 溥儒跋 (民國28年、1939)



同 宋伯魯識語（左）



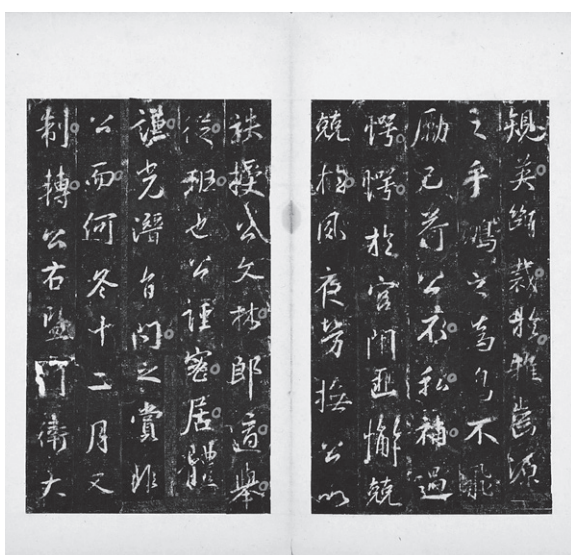
蘭亭序（臨書帖） 第一開
（碑一合—024）



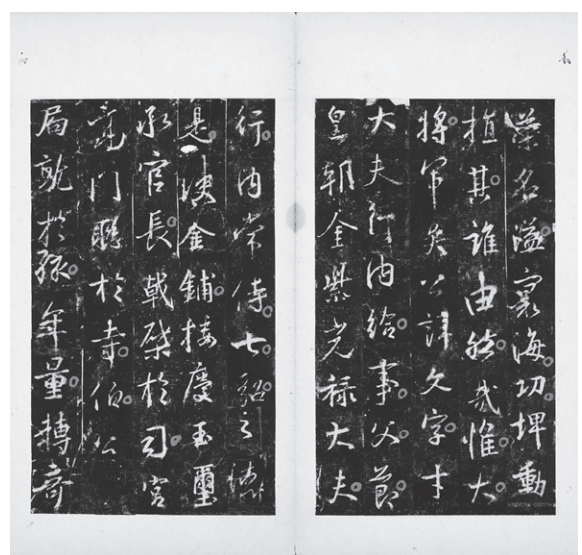
同 第一開



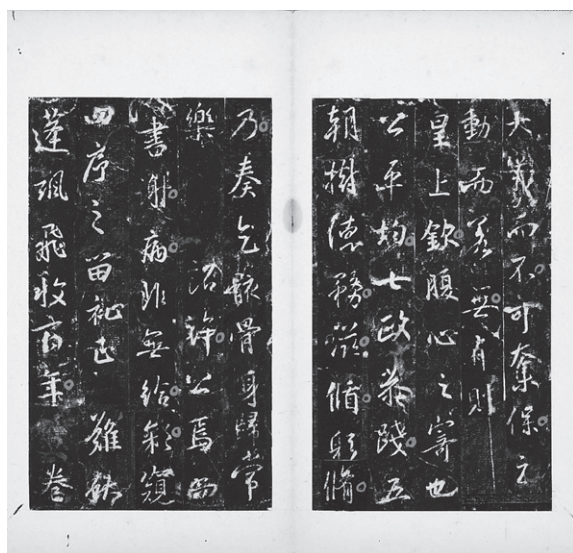
興福寺斷碑 表紙
（碑一唐—106）



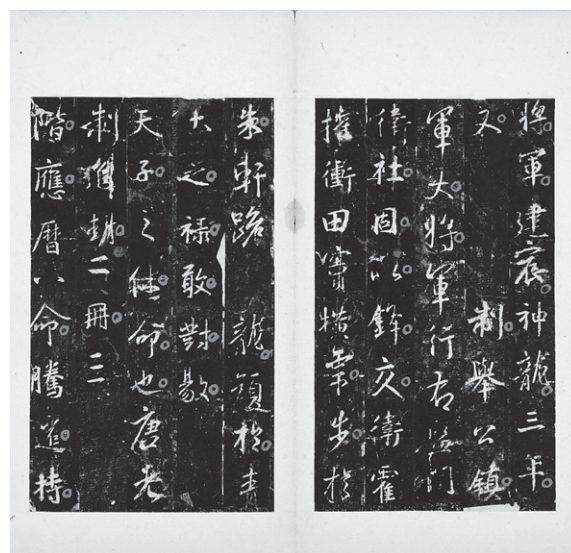
同 第三開



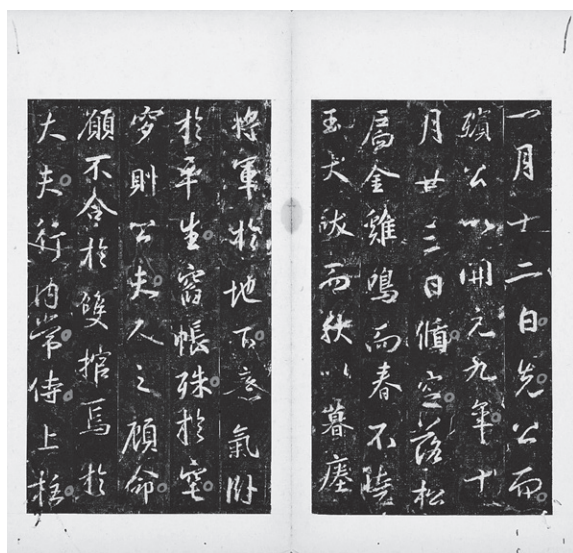
同 第二開



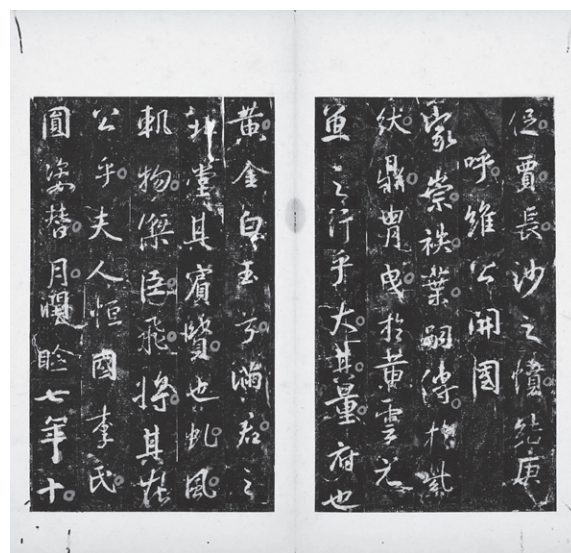
同 第五開



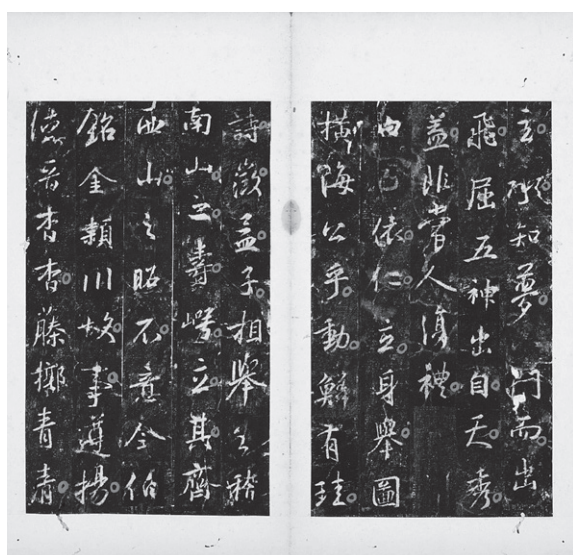
同 第四開



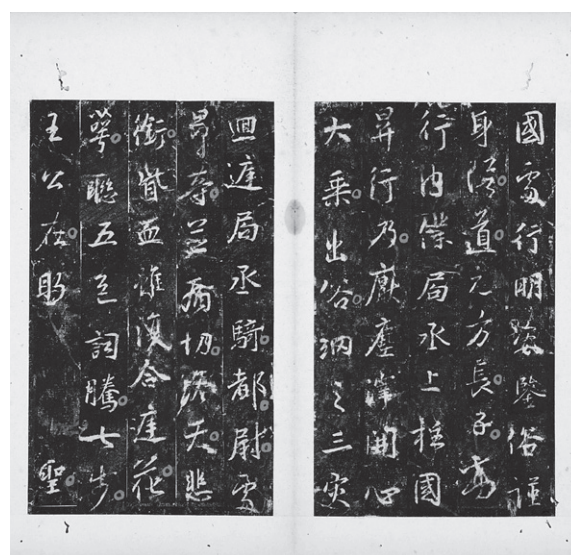
同 第七開



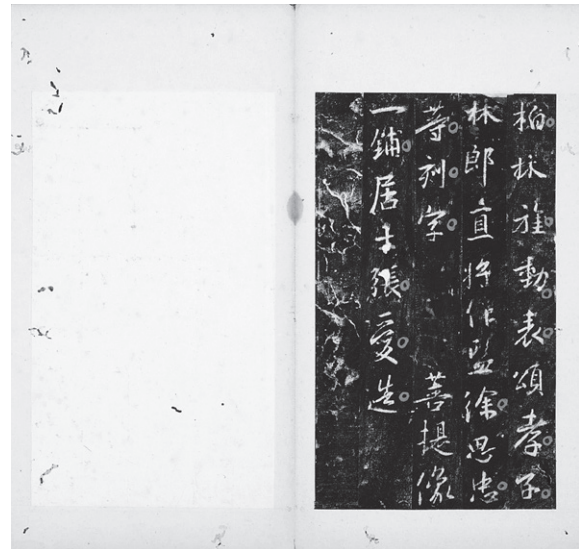
同 第六開



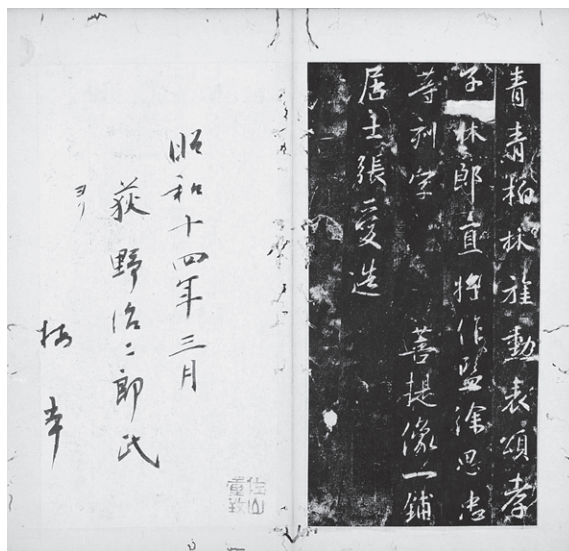
同 第九開



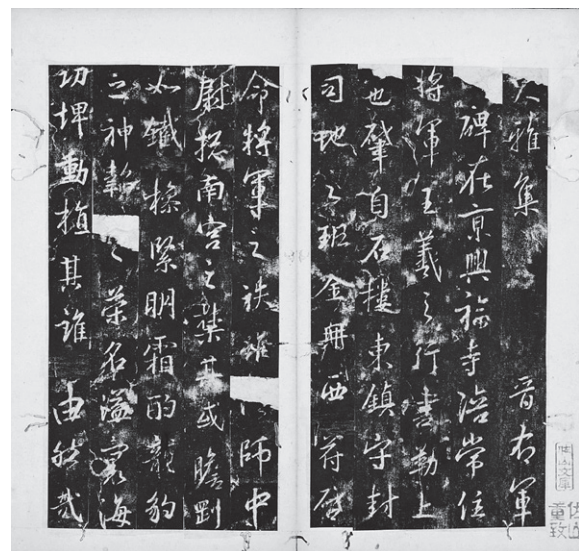
同 第八開



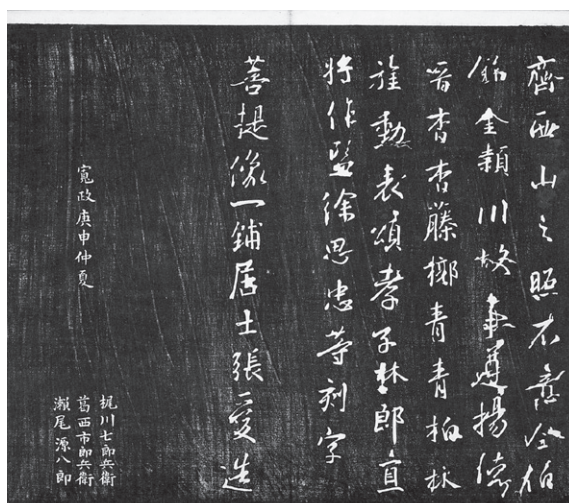
同 最終開



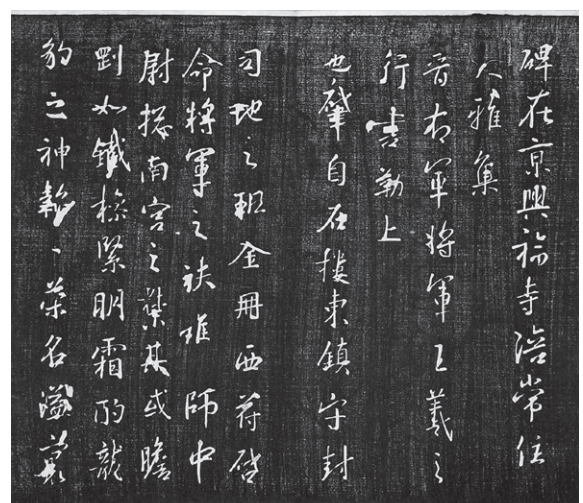
同 最終開



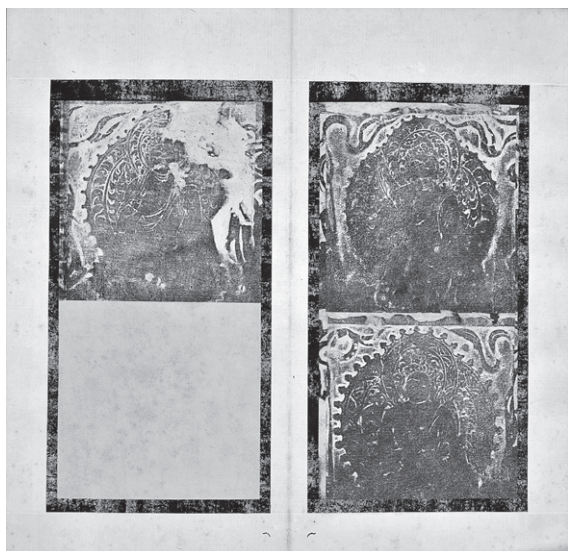
興福寺断碑 翻刻本 第一開
(碑一唐—103)



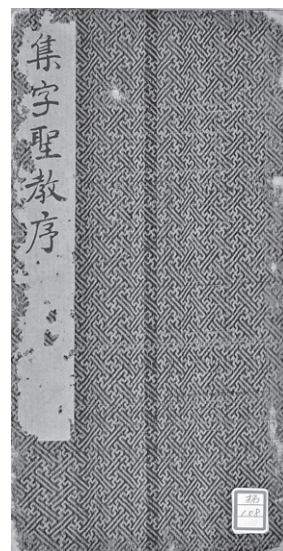
同 奥付



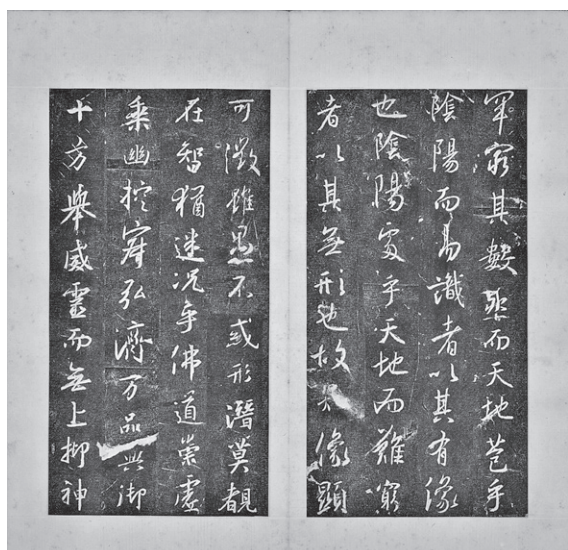
興福寺断碑 和刻本 第一開
(帖一单—052)



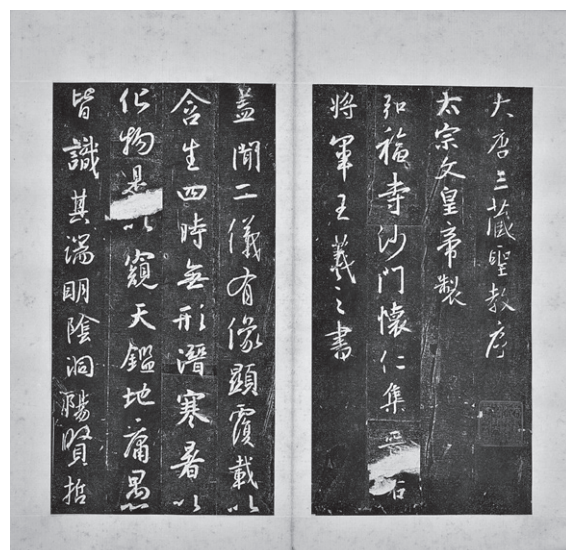
同 冒頭 (三仙)



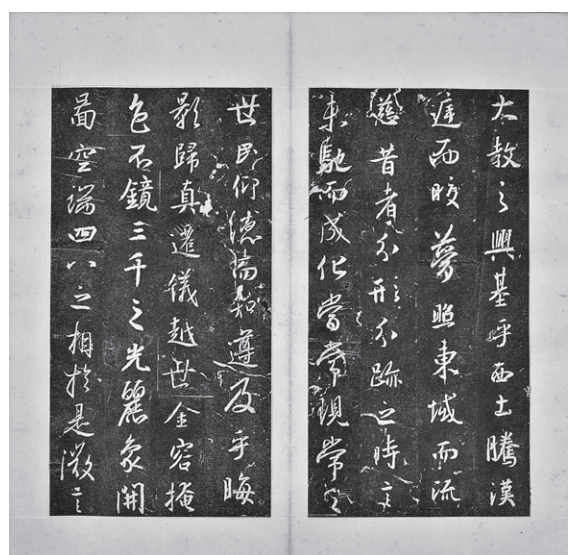
集王聖教序 表紙
(碑—唐—074)



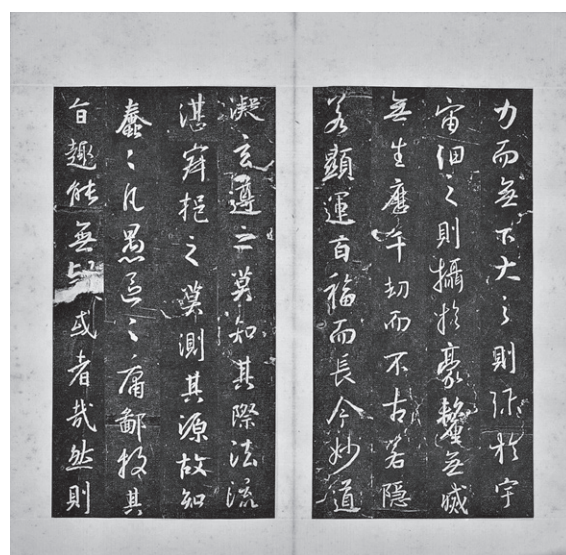
同 第二開



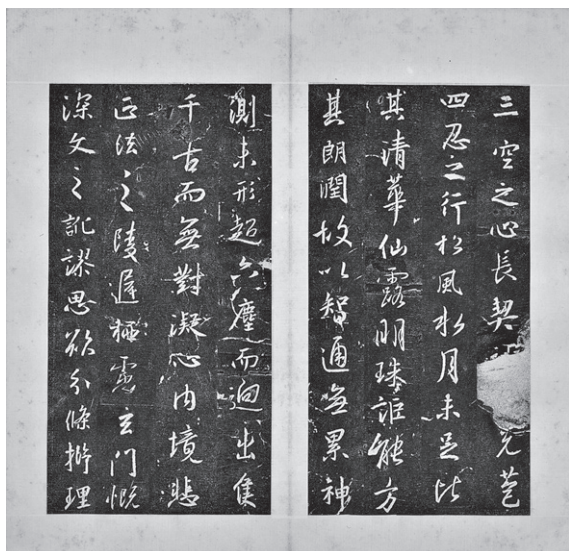
同 第一開



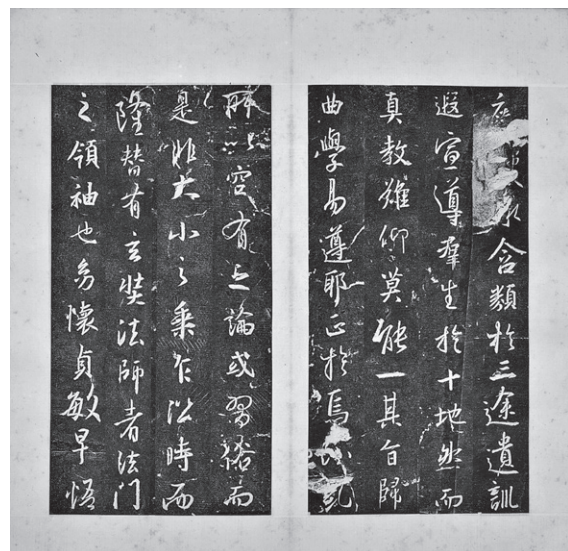
同 第四開



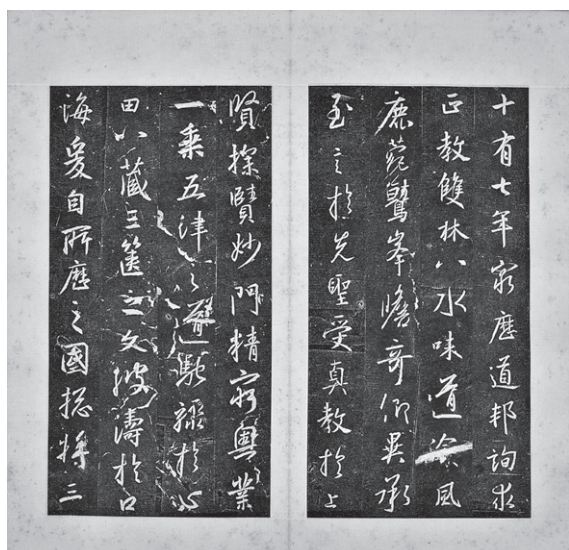
同 第三開



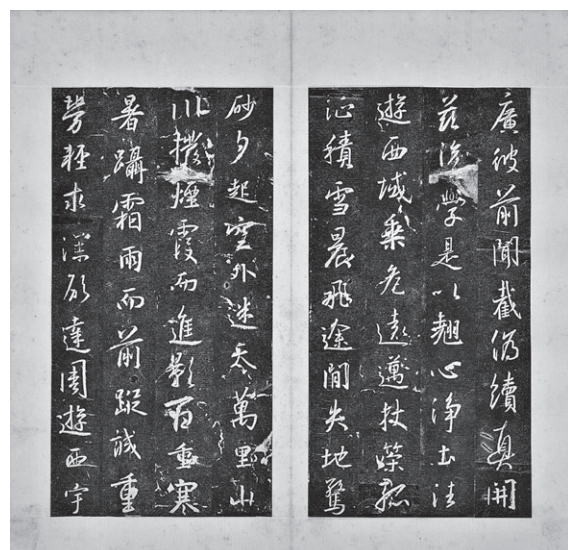
同 第六開



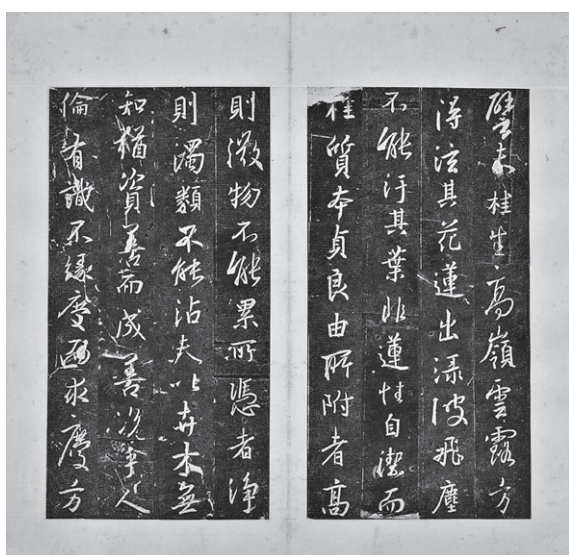
同 第五開



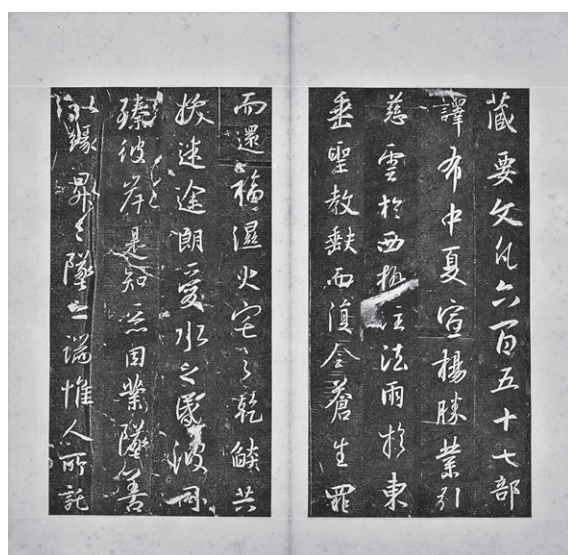
同 第八開



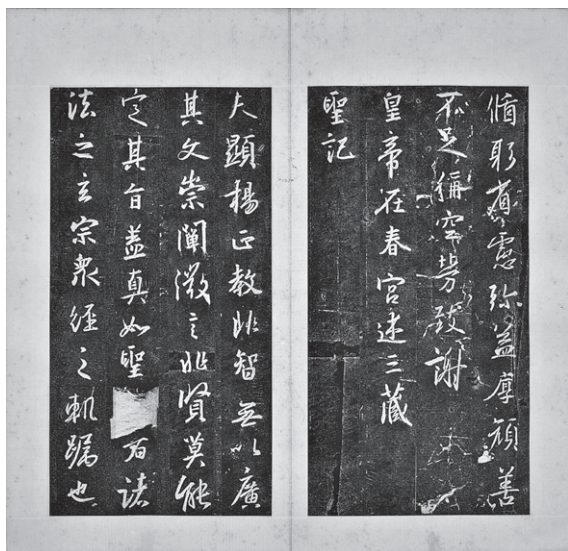
同 第七開



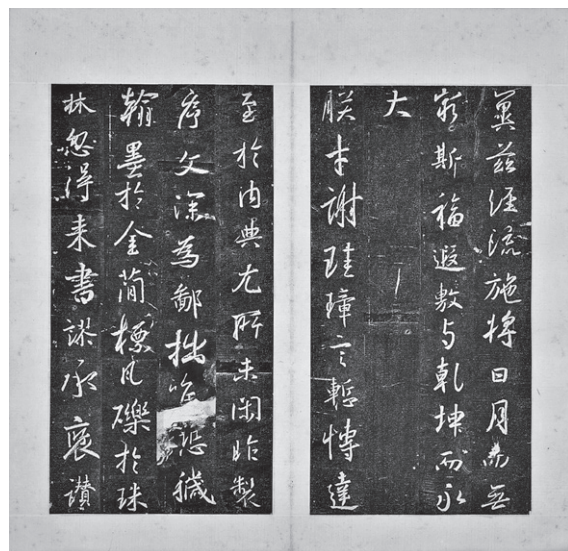
同 第十開



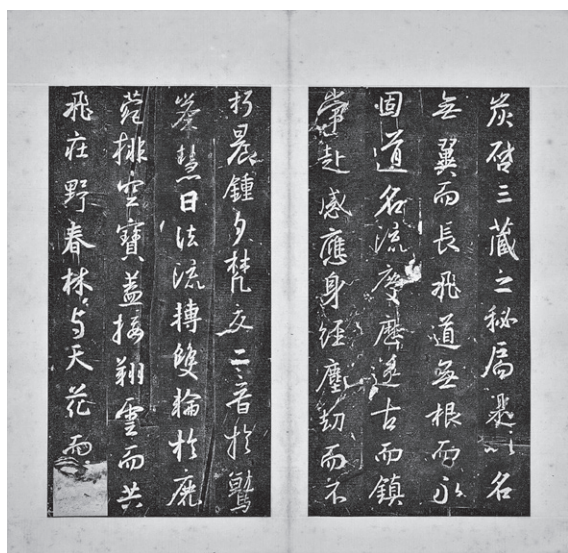
同 第九開



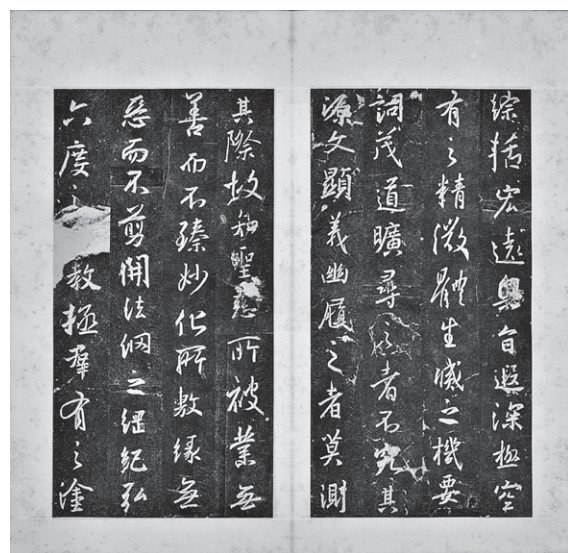
同 第十二開



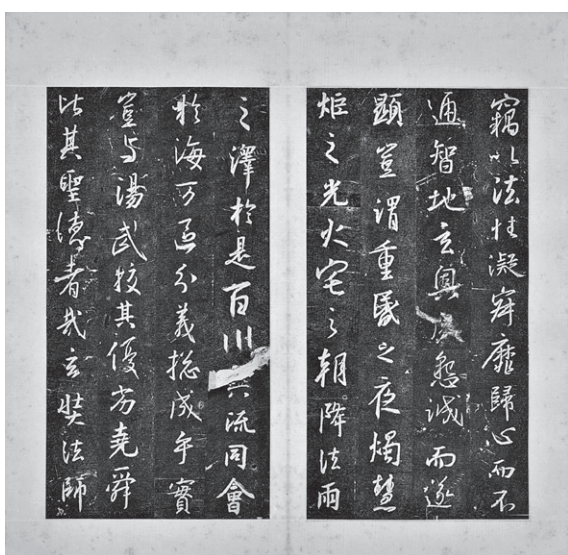
同 第十一開



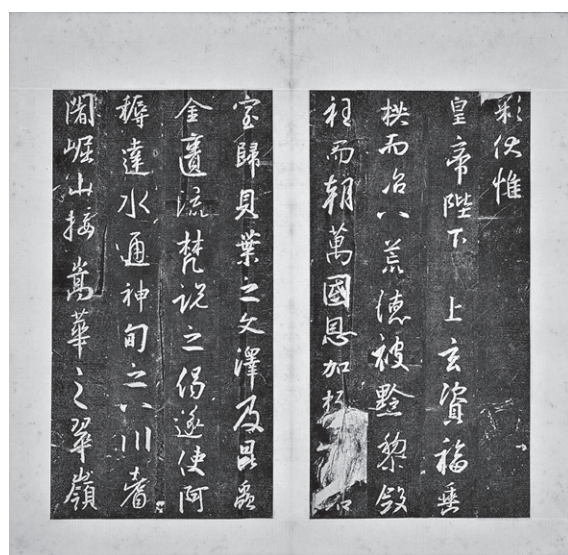
同 第十四開



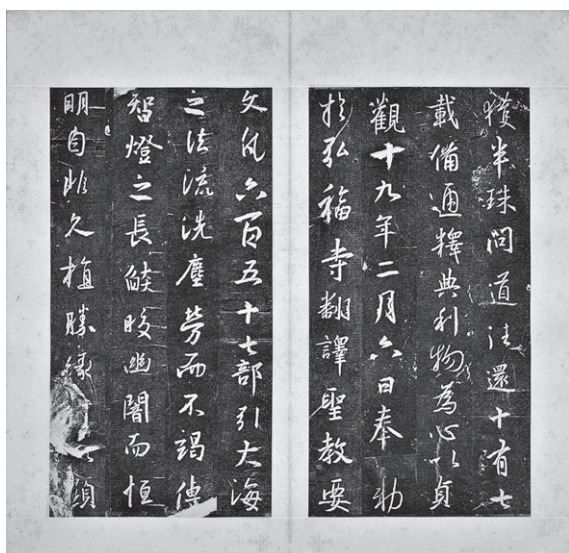
同 第十三開



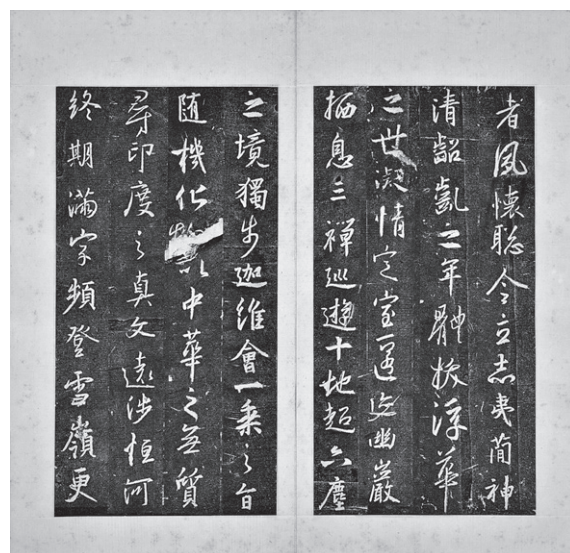
同 第十六開



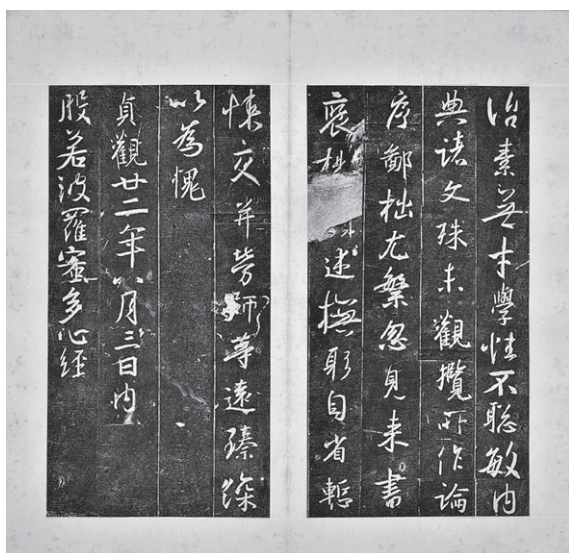
同 第十五開



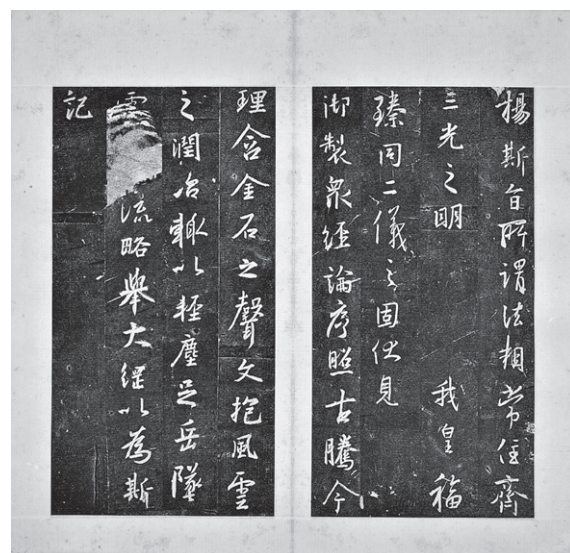
同 第十八開



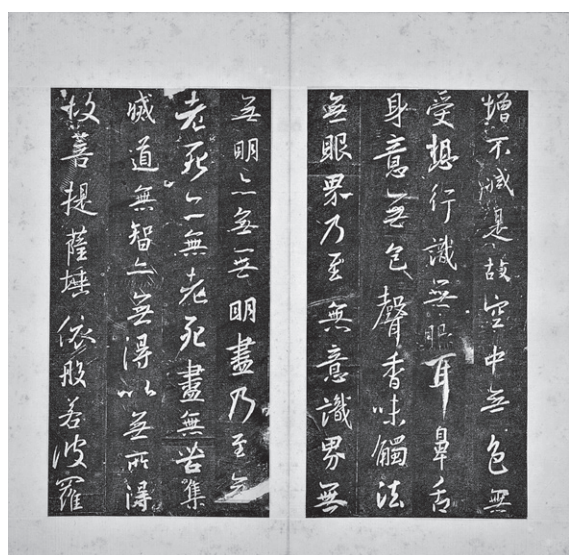
同 第十七開



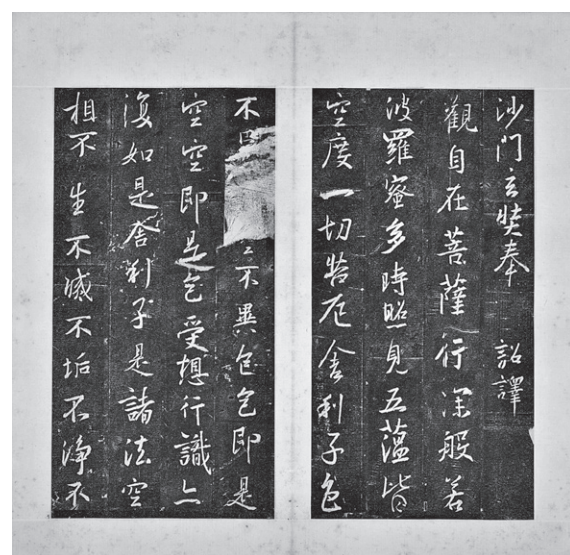
同 第二十開



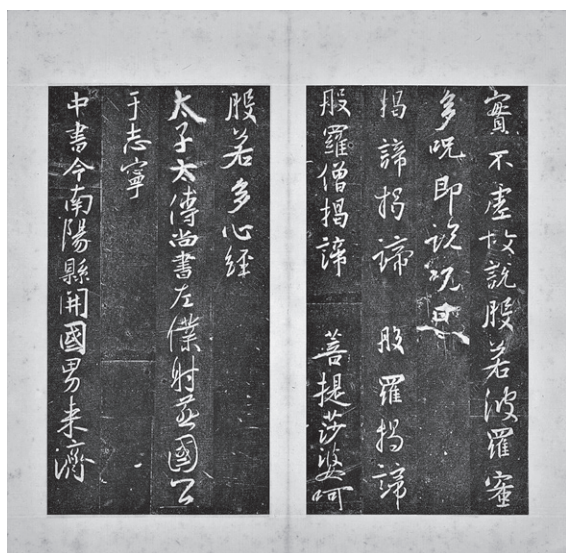
同 第十九開



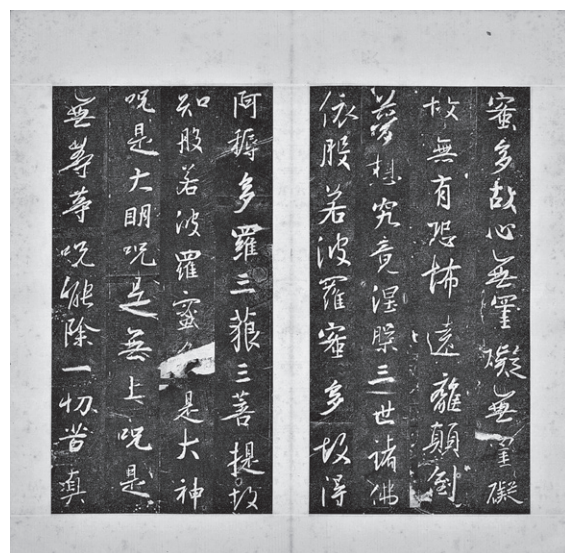
同 第二十二開



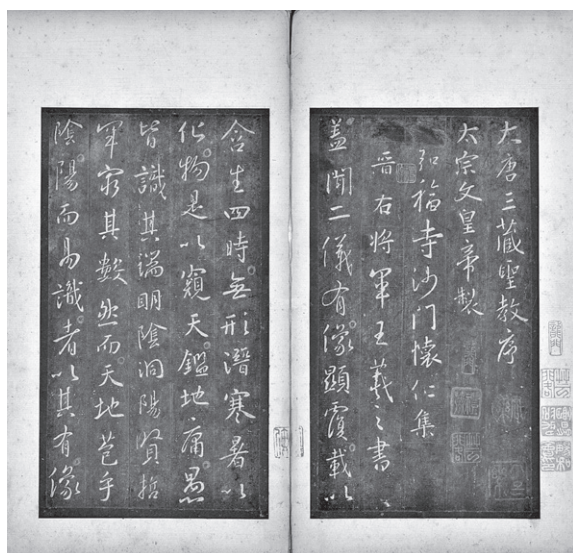
同 第二十一開



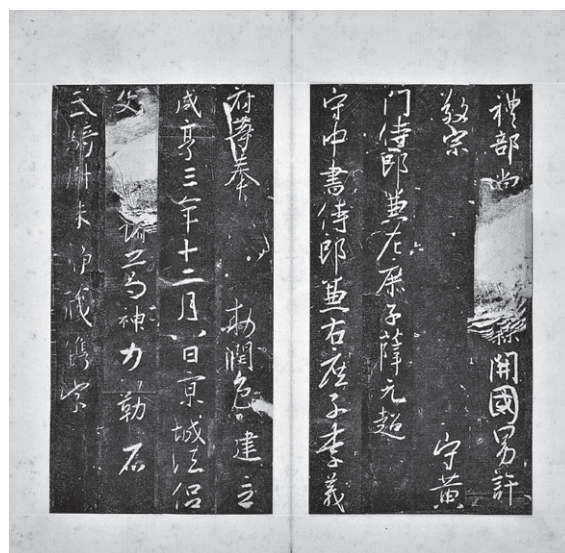
同 第二十四開



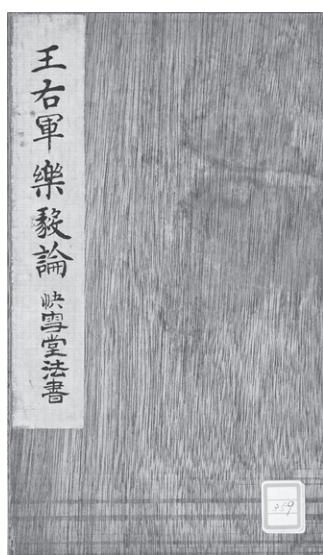
同 第二十三開



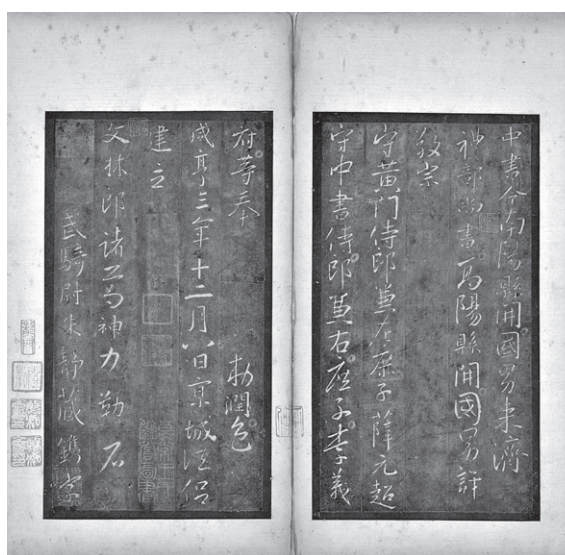
集王聖教序 翻刻本 第一開



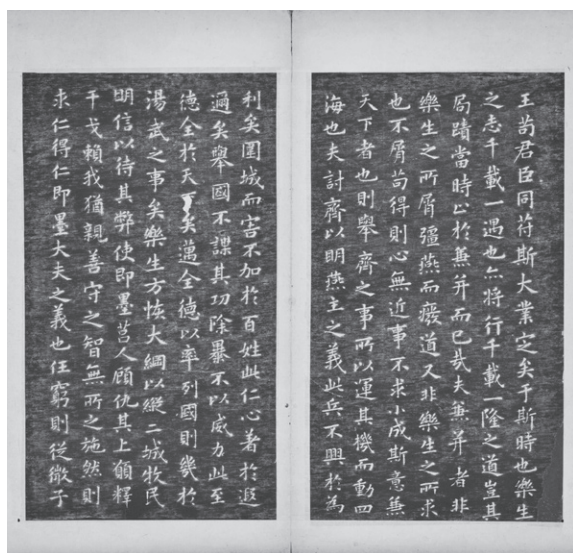
同 最終開



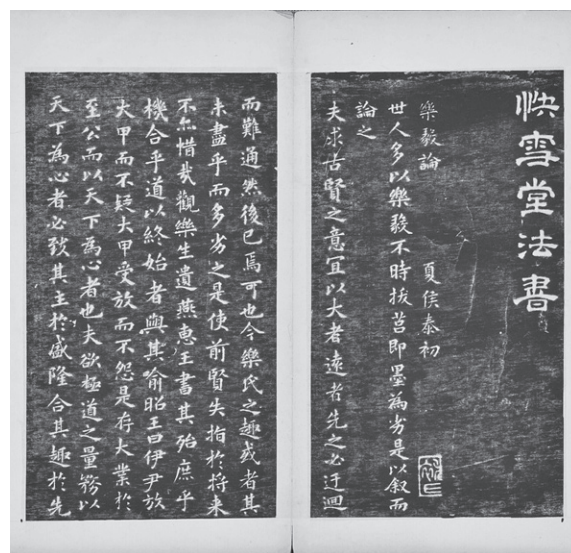
樂毅論 表紙
(帖一單—024)



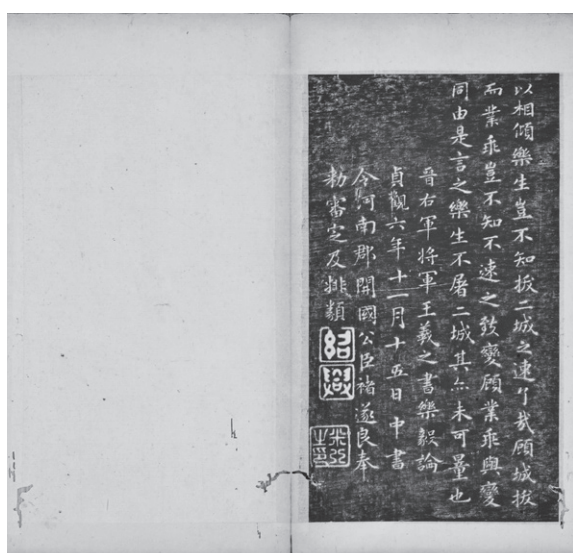
同 最終開



同 第二開



同 第一開



同 最終開



同 第三開



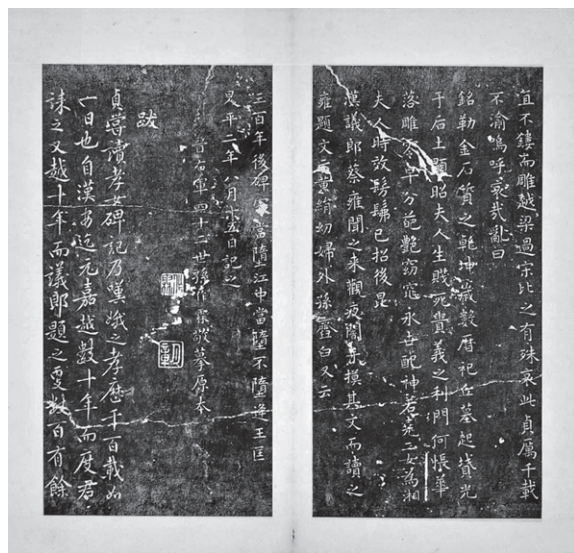
同 第一開



孝女曹娥碑（五種）表紙
（帖一單—002）



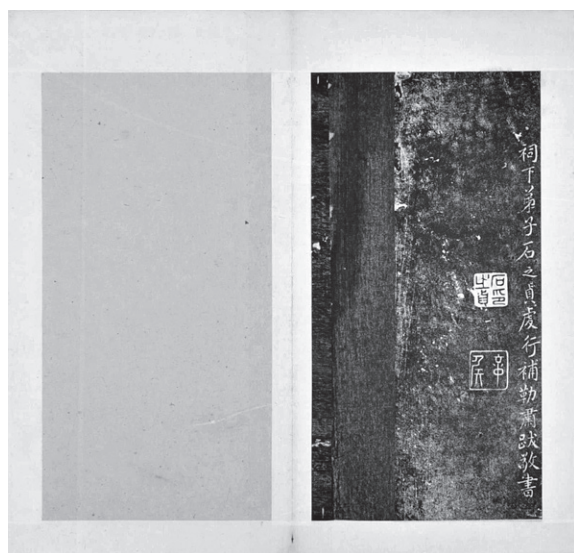
同 第三開



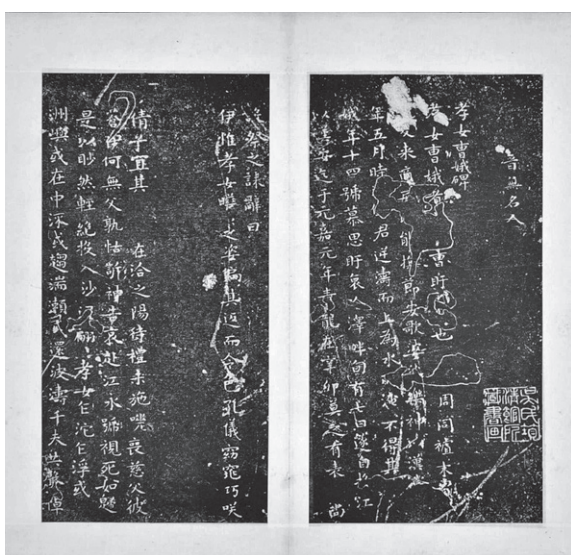
同 第二開



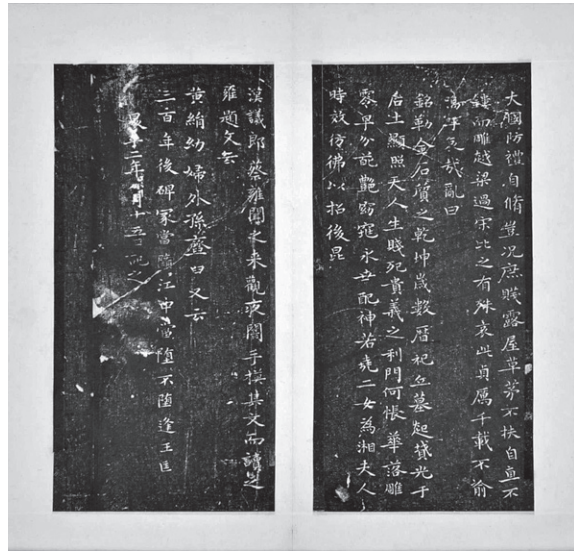
同 第五開



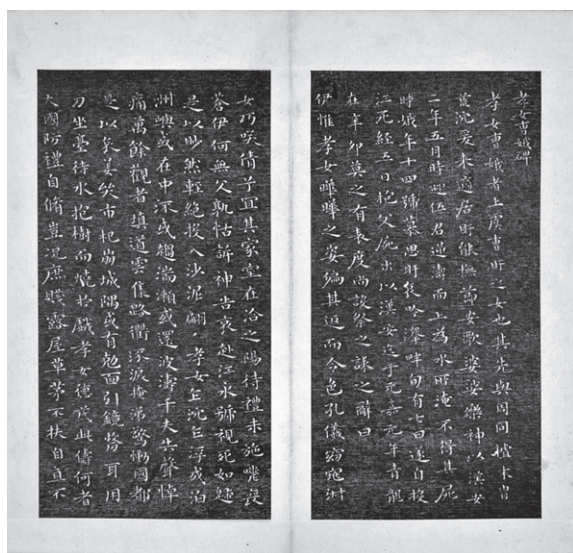
同 第四開



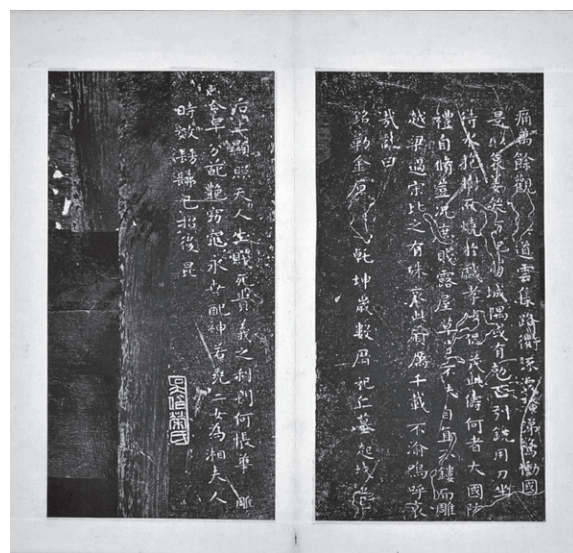
同 第七開



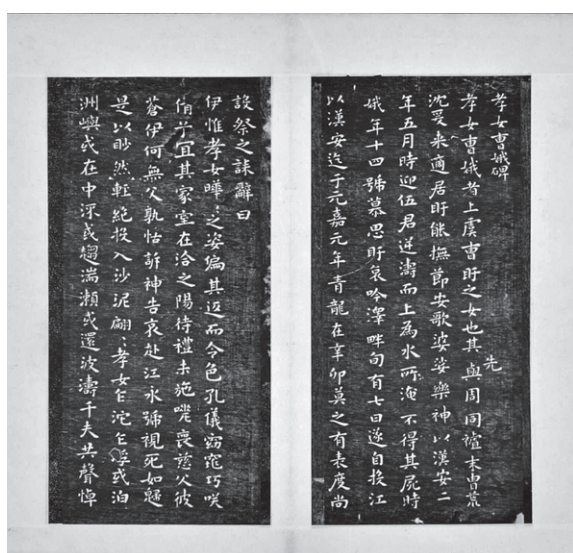
同 第六開



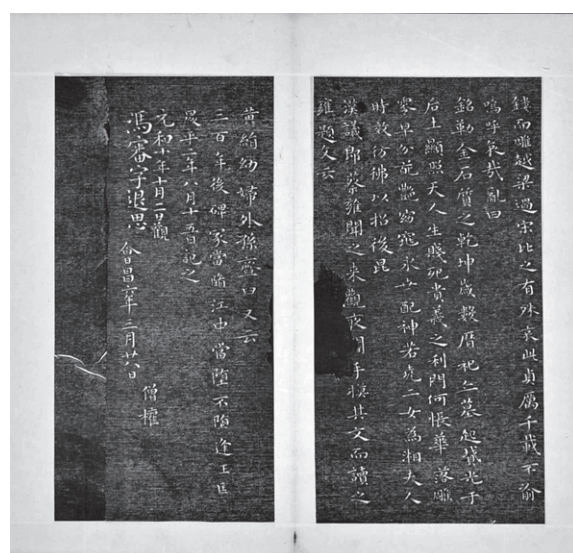
同 第九開



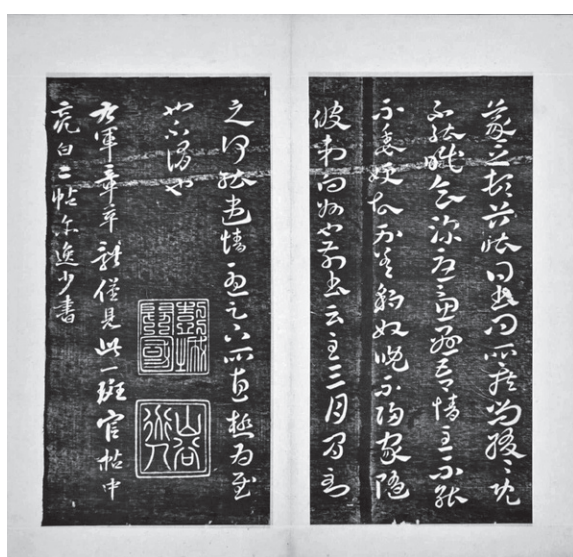
同 第八開



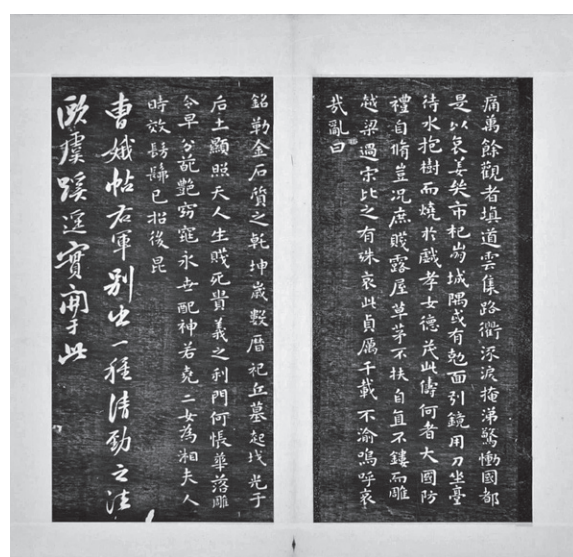
同 第十一開



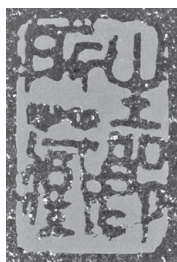
同 第十開



同 最終開



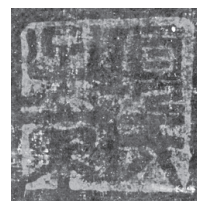
同 第十二開



「生郎所藏」
(2.5×1.7cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「旧王孫」
(1.4×1.4cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「項氏子京」
(1.9×1.9cm)
(拓帖—117 十七帖)



「筱石」
(1.1×1.1cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「行心所安」
(2.2×1.7cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「南峰老人」
(2.2×2.2cm)
(拓帖—117 十七帖)



「汲古得修綆」
(1.5×0.8cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「唐寶鑑印」
(2.6×2.6cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「溥儒之印」
(1.0×1.0cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「溥儒」
(1.8×1.8cm)
(拓帖—026 蘭亭序)



「長州彭穀孫餘姚邵藹珠夫婦共寶金石」
(2.6×2.7cm)
(碑—唐—074 集王聖教序)



「天目山房藏書之記」
(5.6×5.5cm)
(拓帖—117 十七帖)